

令和8年度

研究部門教育科目シラバス

農業研究科  
畜産研究科  
1年生

鹿児島県立農業大学校

授 業 科 目	農業会計分析論 I			講師名	農大農業研究科教授, 非常勤教授 農大畜産研究科教授, 非常勤教授		
履 修 学 科	農業研究科 畜産研究科	履修 年次	1 年	履修 時間	3 0 時限	単 位	2 単 位
授 業 形 態	講義・演習方式						
テーマ及び概要	農業経営管理に必要な複式簿記の記帳, 原価計算及び決算の方法について学ばせる。 農業簿記 2 級レベルの資格取得を目指す。						
使 用 教 材	① テキスト・教材 テキスト ・ 農業簿記検定教科書 2 級 ・ 農業簿記検定問題集 2 級 ・ 農業簿記検定過去問題集 2 級  ② 参考文献 なし						
授業スケジュール	農業会計分析論 I では原価計算を中心に実施						
	1～7 時限	農業簿記の基礎 農業簿記の記帳体系					
	8～15 時限	材料費会計, 労務費会計, 経費会計 製造間接費会計, 部門別計算					
	16～22 時限	製品別計算 (単純個別原価計算, 単純総合原価計算, 完成品総合原価計算と完成品単位原価の計算, 期末仕掛品原価の計算, 減損及び仕損) 工程別総合原価計算					
	23～30 時限	農企業の財務諸表, 標準原価計算 (製品原価計算, 原価差異計算と原因分析) 原価・生産規模・利益関係の分析 直接原価計算 原価計算まとめ					
成 績 評 価	試験, 受講態度 計 100 点 優: 80 以上～100, 良: 70 以上～80 未満, 可: 60 以上～70 未満, 不可: 60 未満						

※実務経験のある教員等による授業科目

授 業 科 目	農業会計分析論Ⅱ			講師名	農大農業研究科教授，非常勤教授 農大畜産研究科教授，非常勤教授		
履 修 学 科	農業研究科 畜産研究科	履修 年次	1 年	履修 時間	3 0 時限	単 位	2 単 位
授 業 形 態	講義・演習方式						
テーマ及び概要	農業経営管理に必要な複式簿記の記帳，原価計算及び決算の方法について学ばせる。 農業簿記2級レベルの資格取得を目指す。						
使 用 教 材	① テキスト・教材 テキスト ・農業簿記検定教科書2級 ・農業簿記検定問題集2級 ・農業簿記検定2級過去問題  ② 参考文献 なし						
授 業 ス ケ ジ ュ ー ル	農業会計分析論Ⅱでは財務会計を中心に講義						
	1～7時限	簿記一巡の手引き，伝票会計					
	8～15時限	固定資産，繰延資産 (有形固定資産，リース会計，無形固定資産，繰延資産，固定資産の処分，圧縮記帳)					
	16～22時限	引当金，準備金，株式会社(株式会社の意義，株式発行，剰余金配当等，法人税等)					
	23～26時限	農事組合法人(農事組合法人の意義，，出資の払込，剰余金の処分)，交付金・補填金，消費税，決算(財務諸表)，収入保険					
	27～30時限	財務会計まとめ					
成 績 評 価	試験，受講態度 計100点  優：80以上～100，良：70以上～80未満，可：60以上～70未満，不可：60未満						

※実務経験のある教員等による授業科目

授業科目	農業経営計画論 I			講師名	農大農業研究科教授，非常勤教授 農大畜産研究科教授，非常勤教授		
履修学科	農業研究科 畜産研究科	履修 年次	1年	履修 時間	30時限	単 位	2単位
授業形態	講義方式						
テーマ及び 達成目標	<p>農業経営計画に必要な会計による農業マネジメントの基礎的内容を理解し「稼ぐ力」の向上に資する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業経営における原価計算・利益計画の重要性を理解する。</li> <li>・製品原価の計算・損益計算書の作成を理解する。</li> </ul> <p>&lt;農業経営計画論 I，経営計画演習 I は関連させて実施する&gt;</p>						
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	<p>① テキスト・教材 農業簿記検定3級教科書，問題集，過去問 農業簿記検定2級教科書，問題集，過去問 日商原価計算初級 演習内容に応じて各種プリント，教材を準備する。 その他 パソコン，電卓</p>						
授 業 ス ケ ジ ュ ー ル	<p>1～8時限 &lt;講義&gt;簿記と農業経営計画（基礎） 原価計算の基礎（基礎）</p> <p>9～15時限 &lt;講義&gt;利益計画と統制（基礎）</p> <p>16～23時限 &lt;講義&gt;製造原価の分類と集計（基礎）</p> <p>24～30時限 &lt;講義&gt;製品原価の計算・損益計算書の作成（基礎） 原価計算の仕訳 まとめ</p>						
成績評価	<p>レポート80点+受講態度20点 合計100点 評価項目は以下の通り 優：80以上～100，良：70以上～80未満，可：60以上～70未満，不可：60未満</p>						

授業科目	農業法人実務 I			講師名	秋山 邦裕 (鹿児島大学名誉教授) 農大農業研究科教授, 非常勤教授 農大畜産研究科教授, 非常勤教授		
履修学科	農業研究科 畜産研究科	履修 年次	1年	履修 時間	30時限	単 位	2単位
授業形態	講義・演習方式						
テーマ及び 達成目標	法人の形態, 設立の意義, 設立手続き及び企業経営の基本を理解する。						
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	①テキスト・教材 『Q&A 農業法人化マニュアル 改訂6版』日本農業法人協会等。 ②参考文献 『農業経営法人化 ハンドブック』農林水産省 『農業経営の法人化のすすめ (個人版)』農林水産省 『農業経営の法人化のすすめ (集落営農版)』農林水産省						
授 業 スケジュール	1～26時限 ・家族経営 (世帯・自然人) と農業法人経営への比較・ 家族経営、農家：土地・労働・資本三位一体、世帯・消費単位 経営基本要素の分離過程：土地所有者、労働者、企業・経営者 農業経営の法人化の進展：企業的家族経営法人、集落営農法人、農業企業 ・企業形態の比較、法人形態の組合せ (株式) 会社：資本の平等、出資額に応じた決定権 (農事) 組合法人：人の平等、1人1票制の決定権 NPO 法人：(市民) 非営利組織法人、利益を私的に分配せず社会貢献投資 公益法人、LLC、LLP：市町村農業公社、企業形態の組み合わせ ・農業法人経営の管理手法：マネジメントの基本 マーケティング：製品、顧客満足、スピリチュアル イノベーション：「新機軸」「新結合」「新しい切り口」 労務管理：魅力的な職場、労働関係法規、就業規則、外国人材の活用 事業多角化：六次産業化法、外国：国民のための農村空間整備 (台湾、EU) ・農業法人の実態と展望 企業的家族経営と集落営農の法人化 大規模法人経営と一般企業の農業参入 農業法人の事業の多角化と農村ビジネス展開の可能性 受講者の読書感想・意見発表  27～30時限 まとめ						
成績評価	・レポート (30点)、出席状況 (30点)、学習態度・発表 (40点) 合計100点 優：80以上～100, 良：70以上～80未満, 可：60以上～70未満, 不可：60未満						

授業科目	マーケティング I			講師名	鹿大学農学部教授：豊 智行 農大農業研究科教授，非常勤教授 農大畜産研究科教授，非常勤教授		
履修学科	農業研究科 畜産研究科	履修 年次	1 年	履修 時間	3 0 時限	単 位	2 単位
授業形態	講義・演習方式，現地研修						
テーマ及び 達成目標	食料農業経済，食料消費，6次産業化，ブランド，輸出についての現状及び 実態を理解する。 また，マーケティングの優良事例について事例調査研究をおこなう。						
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	講義演習内容に応じた各種プリント，教材 (講師作成資料) 現地研修先資料 (事前情報収集資料含む)						
授 業 スケジュール	1～12時限 講義 (豊教授) 1 食料農業経済の概要 2 食料消費の概要 3 6次産業化 4 ブランドについて 5 輸出について						
	13～30時限 マーケティング先進事例等の現地調査研究 講義・現地調査研究 まとめ						
成績評価	講義，現地研修：レポート (80点)，態度 (20点) 合計100点 講義，現地研修の評価の平均で評価する。  優：80以上～100，良：70以上～80未満，可：60以上～70未満，不可：60未 満						

※実務経験のある教員等による授業科目

授業科目	経営計画演習 I			講師名	農大農業研究科教授，非常勤教授 農大畜産研究科教授，非常勤教授		
履修学科	農業研究科 畜産研究科	履修年次	1年	履修時間	45 時限	単 位	3 単位
授業形態	演習方式						
テーマ及び 達成目標	<p>農業経営計画に必要な会計による農業マネジメントの基礎的内容を理解し「稼ぐ力」の向上に資する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業経営における会計と簿記の重要性を理解する。</li> <li>・会計・簿記を活用した農業のマネジメントを理解する。</li> </ul> <p>&lt;農業経営計画論 I，経営計画演習 I は関連させて実施する&gt;</p>						
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	<p>① テキスト・教材 農業簿記検定 3 級教科書，問題集，過去問 農業簿記検定 2 級教科書，問題集，過去問 演習内容に応じて各種プリント，教材を準備する。 その他 パソコン，電卓</p>						
授 業 スケジュール	<p>1～8 時限 &lt;演習&gt;簿記と農業経営計画（基礎） 9～15 時限 &lt;演習&gt;財務諸表分析（基礎） 16～23 時限 &lt;演習&gt;原価計算（基礎） 24～30 時限 &lt;演習&gt;損益分岐点分析（基礎） 30～38 時限 &lt;演習&gt;利益計画（基礎） 39～45 時限 まとめ</p>						
成績評価	<p>演習レポート 80 点) + 演習取組態度 20 点) 合計 100 点 評価項目は以下の通り 優：80 以上～100，良：70 以上～80 未満，可：60 以上～70 未満，不可：60 未満</p>						

※実務経験のある教員等による授業科目

授 業 科 目	専攻ゼミ (農業情報演習)			講師名	農大農業研究科教授, 非常勤教授 農大畜産研究科教授, 非常勤教授		
履 修 学 科	農業研究科 畜産研究科	履修 年次	1 年	履修 時間	15 時限	単 位	1 単位
授 業 形 態	演習方式						
テーマ及び 達成目標	農業に関する情報処理に必要な表計算ソフトの利用・使い方について 学習する。						
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演習内容に応じて各種プリント, 演習教材を準備する。</li> <li>・電卓操作・機能に関するテキスト</li> <li>・エクセル基礎, エクセル関数に関するテキスト</li> <li>・その他</li> </ul>						
授 業 スケジュール	<p>1～4 時限 電卓の操作及び電卓機能の活用</p> <p>5～8 時限 表作成の基本, データの整理と活用, グラフの作り方</p> <p>9～15 時限 表計算と関数 まとめ</p>						
成 績 評 価	<p>演習レポート提出 80 点, 出席態度 20 点</p> <p>合計 100 点 × 10% = 専攻ゼミ評価 10 点</p> <p>優 : 80 以上～100, 良 : 70 以上～80 未満, 可 : 60 以上～70 未満, 不可 : 60 未満</p>						

※実務経験のある教員等による授業科目

授 業 科 目 (運用科目)	専攻ゼミ (農業経営管理演習)			講師名	農業専門普及指導員		
履 修 学 科	農業研究科 畜産研究科	履修 年次	1 年	履修 時間	15 時限	単 位	1 単 位
授 業 形 態	講義・演習方式						
テ ー マ 及び達成目標	農業経営における農家経営改善、労働管理等について学ぶ。						
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	講義演習内容に応じた各種プリント，教材 (講師作成資料)						
授 業 スケジュール	<p>1～8 時限 農家経営改善を進めるための手順</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農家経営のしくみ</li> <li>・所得目標額の算出</li> <li>・家計診断の手法</li> <li>・農業簿記演習</li> <li>・農業の ICT の活用</li> </ul> <p>まとめ</p> <p>9～15 時限 農業経営における労働管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業労働の特徴と改善の視点について</li> <li>・安全・快適・効率的な農作業の取組について</li> <li>・農作業事故の実態について</li> <li>・労働設計演習</li> </ul> <p>まとめ</p>						
成 績 評 価	<p>レポート・演習 (100点)</p> <p>優：80 以上～100，良：70 以上～80 未満，可：60 以上～70 未満，不可：60 未満</p>						

※実務経験のある教員等による授業科目

授 業 科 目	専攻ゼミ (統計処理演習)			講師名	農大農業研究科教授, 非常勤教授 農大畜産研究科教授, 非常勤教授		
履 修 学 科	農業研究科 畜産研究科	履修 年次	1 年	履修 時間	15 時限	単 位	1 単位
授 業 形 態	講義・演習方式						
テーマ及び 達成目標	各種統計データ, グラフ, 図表の基本的な見方, 分析, 解釈を学習し理解 することで, 派遣研修等における調査研究で得られるデータの処理・分析に 活用する能力を向上する。						
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	各種統計データ, グラフ, 図表の資料等 (講師の作成資料)						
授 業 スケジュール	<p>第 1 ~ 8 時限 データの見方と分析① 各種統計データ, グラフ, 図表などの見方・分析・解釈方法の基本的な 理論 データの種類 グラフの種類 (棒グラフ・ヒストグラム・散布図等) 平均値・中央値 相関関係と因果関係 など</p> <p>第 9 ~ 15 時限 データの見方と分析② 試験成績データなどの見方・分析・解釈方法の実践的演習 まとめ</p>						
成 績 評 価	<p>レポート 80 点 受講態度 20 点 合計 100 点 100 点 × 10% = 専攻ゼミ評価 10 点 優 : 80 以上 ~ 100, 良 : 70 以上 ~ 80 未満, 可 : 60 以上 ~ 70 未満, 不可 : 60 未満</p>						

※実務経験のある教員等による授業科目

授 業 科 目	専攻ゼミ (研修・研究計画)			講師名	農大農業研究科教授, 非常勤教授 農大畜産研究科教授, 非常勤教授		
履 修 学 科	農業研究科 畜産研究科	履修 年次	1 年	履修 時間	90 時限	単位	2 単位
授 業 形 態	講義・演習方式						
テーマ及び 達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・派遣研修に向けて研修スケジュール, 課題整理や研究課題解決のための計画を検討し, 「派遣研修全体計画書」としてまとめる。</li> <li>・研修・研究計画書に基づく発表会でプレゼン力を向上する。</li> <li>・「派遣研修全体計画書」に基づき, 最終的に「派遣研修報告書」, 「研究論文」としてまとめる。</li> </ul>						
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	「派遣研修実施要領」 「派遣研修全体計画書・研究課題設計書作成要領」 「派遣研修心得」 「試験研究機関における派遣研修運営要領」 「研究・研修計画発表会」実施計画案 講義内容に応じて各種プリント, 演習教材を準備する。						
授 業 スケジュール	第 1 ～ 8 時限 研究計画・派遣研修全体計画作成の目的・作成要領等 第 9 ～ 45 時限 研究計画の作成 第 46 ～ 75 時限 派遣研修全体計画書の作成 第 76 ～ 90 時限 研修・研究計画発表会						
成 績 評 価	派遣研修全体計画書 (研究計画・派遣研修計画), プレゼンテーション発表内容, 態度等を総合 評価 合計 100 点 優 : 80 以上～100, 良 : 70 以上～80 未満, 可 : 60 以上～70 未満, 不可 : 60 未満						

※実務経験のある教員等による授業科目

授 業 科 目	専攻ゼミ（派遣研修）			講師名	派遣先（試験研究機関等） 農大農業研究科教授，非常勤教授 農大畜産研究科教授，非常勤教授		
履 修 学 科	農業研究科 畜産研究科	履修 年次	1 年	履修 時間	1,215 時限	単 位	27 単位
授 業 形 態	講義・演習・実習・ゼミ方式						
テーマ 及び達成目標	学生自身の課題解決のために必要な知識や高度な農業技術（専攻）を学ぶため，試験研究機関や先進経営及び関連業界に一定期間（延べ1年間）滞在して実習や演習を行う。						
使用教材 ①テキスト・教材 ②参考文献	「派遣研修実施要領」「派遣研修全体計画書・研究課題設計書作成要領」 「派遣研修心得」「試験研究機関における派遣研修運営要領」 「研修日誌」「派遣研修報告書・研究論文作成要領」 講義内容に応じて各種プリント，演習教材を準備する。						
授 業 スケジュール	第1～1215時限 派遣研修の実施 研修する機関等は，研究部門のプロジェクト成果である研究論文や進路目標に直結した研修先とする。 研修先 試験場等研究機関 農業関連機関及び農業法人 先進産地・農家事例調査 流通調査（市場流通研修） その他						
成 績 評 価	派遣研修状況総合評価 （派遣研修評価票項目に基づく評価） 計100点  優：80以上～100，良：70以上～80未満，可：60以上～70未満，不可：60未満						